

伊藤森右衛門名誉教授略歴

一出 生一

大正8年8月29日 伊藤森右衛門・タイ夫妻の長男として、北海道小樽市色内に生まれる。幼名、森之介。

一学歴・職歴一

昭和7年3月31日 小樽市立稲穂尋常小学校を卒業する。

昭和12年3月31日 北海道庁立小樽商業学校を卒業する。

昭和15年3月31日 小樽高等商業学校を卒業する。

昭和17年9月30日 神戸商業大学を卒業する。

昭和17年10月1日 臨時召集により入隊する。

昭和20年11月30日 召集を解除される（北部軍管区司令部附主計中尉のとき）。

昭和20年12月28日 北陽工業株式会社監査役となる。

昭和23年9月1日 札幌文化専門学院助教授に任ぜられる。

昭和25年4月1日 札幌短期大学助教授に任ぜられる。

昭和27年4月1日 北海道学芸大学助教授に任ぜられる。

昭和35年4月1日 小樽商科大学助教授に任ぜられる。

昭和37年3月31日 「経営者リーダーシップ論」の研究により経済学博士の学位を授与される（北海道大学）。

昭和39年7月1日 小樽商科大学教授に任ぜられる。

昭和43年4月1日 小樽商科大学学生部長に併任される（任期は昭和44年6月10日まで）。

昭和51年3月1日 小樽商科大学学長に任ぜられる。

昭和55年2月29日 小樽商科大学学長を任期満了のため退職する。

昭和55年3月17日 小樽商科大学名誉教授の称号を授与される。

昭和55年4月1日 静修短期大学学長に任ぜられる。

一在外研究・外遊一

昭和39年8月9日 イギリス、オランダ、スイス、イタリア、西ドイツ、フランス、アメリカ合衆国へ出張する（昭和39年10月1日帰国）。

昭和41年1月30日 インドへ出張する（昭和42年2月13日帰国）。

- 昭和43年12月2日 ヴェトナム共和国, フィリピン, 中華民国へ出張する(昭和43年12月25日帰国)。
- 昭和45年7月30日 文部省在外研究員としてタイ, イラン, フランス, オランダ, イギリス, アメリカ合衆国へ出張する(昭和45年11月13日帰国)。
- 昭和46年3月1日 アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市東西センター専門研究員として出張する(昭和46年9月1日帰国)。
- 昭和47年5月7日 アメリカ合衆国へ出張する(昭和47年5月18日帰国)。
- 昭和47年9月16日 イギリス, スウェーデン, 西ドイツ, フランス, オランダ, スイス, デンマーク, アメリカ合衆国へ出張する(昭和47年10月3日帰国)。
- 昭和48年7月7日 西ドイツ, フランス, イギリス, オランダ, スウェーデン, デンマーク, スペイン, イタリア, オーストリアへ出張する(昭和48年8月5日帰国)。
- 昭和49年1月12日 アメリカ合衆国へ出張する(昭和49年1月17日帰国)。
- 昭和49年6月29日 西ドイツ, スイス, フランス, オランダ, スウェーデン, デンマーク, カナダ, アメリカ合衆国へ出張する(昭和49年7月31日帰国)。
- 昭和50年8月2日 香港, フィリピンへ出張する(昭和50年8月14日帰国)。

—公的活動—

- 昭和24年9月1日 北海道民所得調査委員会委員に任ぜられる(現在にいたる)。
- 昭和34年6月1日 北海道労働基準局北海道地方最低賃金審議会委員に任ぜられる(現在にいたる)。
- 昭和34年10月1日 北海道総合開発委員会委員に任ぜられる(現在にいたる)。
- 昭和37年7月1日 北海道地方労働委員会公益委員に任ぜられる(任期は昭和43年6月30日まで)。
- 昭和50年8月1日 北海道開発審議会特別委員に任ぜられる(任期は昭和53年7月31日まで)。

—家族—

- 昭和24年6月15日 白土誠太郎氏長女, 博子と結婚する。
- 昭和25年10月6日 長男, 隆敏誕生する(現ミネソタ大学経済学部助教授)。

伊藤森右衛門名誉教授著作目録

I 著 書

—北海道経済に関するもの—

『合板工業の労働生産性』（共著）北海道立労働研究所 昭和33年。

『北海道産業構造の分析』（共著）日本評論新社 昭和35年2月。

『技術革新と雇用問題』北海道労働部 昭和37年1月。

『北海道経済100年』（共著）北海タイムス社 昭和42年。

『北海道産業構造論』北海道新聞社 昭和45年。

—経営学に関するもの—

『科学的経営管理の史的展開（その1）—管理的思考の発展とテイラーシステム』北海道経営研究会 昭和26年。

『トップマネジメント概説』北海道経営研究会（昭和32年）。

『経営者リーダーシップ論』評論社 昭和37年9月。

『トップ・マネジメント・リーダーシップ論』税務経理協会 昭和43年。

『経営リーダーシップ論』丸善 昭和45年。

II 翻 訳 書

ウォルター・ゲールソン著『米ソ産業労働生産性の比較』（共訳）日本評論新社 昭和32年10月。

ダグラス・C・ペーシル著『リーダーシップの理論と実践』丸善 昭和49年。

III 論 文

「俗人芭蕉」『LITERATURE』1巻2号（昭和24年）。

「北海道地域経済構造論(1)(2)」『技術と社会』3巻4号, 5号 北海道科学技術聯盟（昭和24年）。

「経営と人間関係」『プロメテウス』（札幌短大）2号（昭和25年）。

「企業者から経営者へ—国民経済視点と経営経済的視点」『商経論叢』（札幌短大）2巻2号（昭和25年）。

「経営と職場天気—続 経営における人間関係」『経営論集』（札幌短大）

- (昭和25年)。
- 「『軽み』えの展開」『あしかび』13巻5号 (昭和25年)。
- 「経営に於ける人間関係——アメリカ経営管理の主題——」『北海道労働経済』2巻4号 (昭和26年)。
- 「英詩と俳句の世界」『LITERATURE』3巻4号 (昭和26年)。
- 「株式会社経営機構論の補講として——」(昭和27年)。
- 「取締役会と経営機構」『プロメテウス』3号 (昭和27年)。
- 「経営者論の特殊問題」『経営論集』2巻2号 (昭和27年)。
- 「東南アジアの経済開発——コロンボ計画とセイロン」『技術と社会』6巻4号(昭和27年)。
- 「人事管理と組織原則(1)(2)」『北海道労働委員会月報』2巻11号, 12号 北海道労働委員会事務局 (昭和28年)。
- 「経営学の性格とプラグマティズム」日本経営学会編『近代経営と経営財務』ダイヤモンド社 (昭和28年)。
- 「管理組織と経営規模」『商経論叢』3号 (昭和28年)。
- 「北海道における階層分化の形態と貧困の類型——都市之部(函館市)」北海道総合開発事務局 (昭和28年)。
- 「帯広市を中心とする十勝地域工業の立地条件に関する分析」十勝総合開発期成会。
- 「経営計画と其の樹立過程——経営計画論序説——」『経営論集』3巻3号(昭和29年)。
- 「労使協調の論理と非論理」北海道地方労働委員会事務局 (昭和29年)。
- 「北海道における建設業経営の実態」北海道科学技術聯盟 (昭和29年)。
- 「企業の期待構成と投資の限界」『経営論集』4巻1号 (昭和30年)。
- 「十勝地域の産業構造——その現状と将来の発展性——第2篇 工業の立地条件に関する分析」十勝総合開発促進期成会 (昭和30年)。
- 「大企業における『経営者』——続『経営者論の特殊問題』」『経営論集』5巻1号(昭和31年)。
- 「管理組織におけるセントラリゼーションとデセントラリゼーション」『札幌短期大学論集』2号 (昭和31年)。

「構造政策としての道開発」『総合開発』26号 北海道開発協議会（昭和31年）。

「北海道開発の問題点」『北海道経済同友会会報』45号（昭和31年）。

「ビジネス・リーダーシップの具体的内容と最高経営者の資格」『PR』8巻1号
（昭和32年）。

「経営組織における委員会制度の利用と其の問題点」『経営論集』6号（昭和32年）。

「札幌市における産業振興対策と都市計画」『さっぽろ経済』32号 札幌商工会議所
（昭和32年）。

「北海道産業構造の特質とその問題点」鹿島守之助編『北海道総合開発の問題点』ダ
イヤモンド社（昭和33年）。

「道開発の経済効果は如何に評価するか」『北海評論』9月特別号 北海評論社
（昭和33年）。

「道経済の発展要因と阻害要因」『北海評論』新年号（昭和34年）。

「地域計画の方法論とその展開」『総合開発』新年号（昭和34年）。

「組織化とモチベーション」『PR』10巻2号（昭和34年）。

「経営におけるフォーマル組織とインフォーマル組織」『経営組織』日本マネジメン
トスクール。

「将来における道経済の規模と道外向輸送量の規定」北海道総合開発企画本部
（昭和34年）。

「道民所得の分析と評価」『マーケティングと広告』8号 電通（昭和34年）。

「北海道総合開発の経営学的考察」日本経営学会編『日本の経営』ダイヤモンド社
（昭和35年）。

「昭和35年『道経済白書』の問題意識と分析の評価」『北海評論』5月号（昭和35
年）。

「総合開発と道民の購買力」『広告研究——昭和35年版——』電通（昭和35年）。

「トップ・マネジメントの権威と伝達」『マネジメント』19巻7号（昭和35年）。

「中小企業の経営的特質と労務管理の問題点」『北海労働』184号 北海道労働部
（昭和35年）。

「総合開発のなかの農業問題」『北方農業』北海道農業聯盟会議（昭和35年）。

「官庁におけるマネジメントの在り方——官庁経営管理論（概説）——」釧路市

(昭和35年)。

「経営者リーダーシップ論(序説)(I)~(IV)」『商学討究』11巻2~4号, 12巻4号, 14巻2号 (昭和35年~38年)。

「ドラッカーの企業観と労資関係」『税経セミナー』(昭和36年)。

「北海道におけるマーケティングの特性と市場開発の問題」『マーケット北海道』13号 (昭和36年)。

「経営組織とリーダーシップ」『小樽商科大学創立50周年記念論文集』(昭和36年)。

「明日の経営リーダーシップの問題」『事務と経営』5月臨時増刊号 (昭和37年)。

「商法と長期計画」『産業経理』22巻7号 (昭和37年)。

「組織の経営学的考察とその課題」『商学討究』13巻3号 (昭和37年)。

「経営リーダーシップの類型と参加」『Industrial Marketing』9月号 (昭和37年)。

「産業立地と交通問題(I)~(IV)」『北海道交通研究会会報』101号~104号 北海道交通研究会 (昭和37年)。

「貿易の自由化と北海道産業——石炭企業の長期計画とその吟味」日本経営学会編『貿易の自由化と経営学の諸問題』ダイヤモンド社 (昭和37年)。

「卸小売商業はどうなるのか」『さっぽろ経済』75号 札幌商工会議所 (昭和38年)。

「意思決定とリーダーシップ」『税経通信』18巻4号 (昭和38年)。

「新商法規則と損益計算書」『産業経理』23巻11号 (昭和38年)。

「経営学における組織論の課題」日本経営学会編『経営学における組織論の展開・役割・地位』ダイヤモンド社 (昭和38年)。

「工業開発と地域市場の構造」『商学討究』15巻3号 (昭和39年)。

「書評: ジョージ・ゴイダー著喜多裕訳『第三の企業体制』」『商学討究』15巻1号 (昭和39年)。

「ゼネラル・スタッフ概説」生産性北海道地方本部 (昭和39年)。

「中小企業と労務管理(1)(2)」『さっぽろ経済』86号, 88号 札幌商工会議所 (昭和40年)。

「網走市民所得総推計結果の分析と評価」網走市企画室 (昭和40年)。

「中小企業における労働関係の近代化」『中経協』55号 中小企業経営者協会 (昭和40年)。

「長期計画の策定と実施」生産性北海道地方本部 (昭和40年)。

「地域開発診断——石狩町」『北海評論』秋季増大号 (昭和40年)。

- 「インフレ傾向における三つの『経営錯覚』」『産業経理』26巻3号（昭和41年）。
- 「トップ・マネジメントリーダーシップ論序説」『商学討究』16巻4号（昭和41年）。
- 「インドにおける中小工業開発」『商学討究』17巻1号（昭和41年）。
- 「北海道における工業開発の意義とその方向」『かいほつ』'67年冬期号 北海道開発問題研究調査会（昭和42年）。
- 「トップ・マネジメントと官僚化」『商学討究』17巻3号（昭和42年）。
- 「地域開発診断——苫小牧市」『北海評論』新春特大号（昭和42年）。
- 「地域開発と公害」北海道企画部公害課（昭和42年）。
- 「北海道100年を再評価する——自然・経済・人間」『北海道自治』北海道地方課（昭和43年）。
- 「北海道開発の長期展望への期待と反省」『北方農業』1月号 北海道農業聯盟会議（昭和43年）。
- 「『管理原則論批判』への批判」『商学討究』18巻3号（昭和43年）。
- 「砂地から躍り出た苫小牧港」『北海評論』（昭和43年）。
- 「A. P. スローン Jr. 『GMとともに』（文献紹介）」『商学討究』（昭和43年）。
- “The Stages of Economic Growth and the Consciousness of the Inhabitants” *APO (Dissemination of Knowledge Ser. No. 23) Asia Productivity Organization*（昭和43年）。
- 「北海道開発と経営政策」北海道生産性本部（昭和43年）。
- 「不当労働行為へのヒューマン・リレーションズアプローチ——労使関係の心理的成長過程——」『地方労委月報』Feb. 25 北海道地方労働委員会（昭和43年）。
- 「北海道内における地域別経済指標の推定——道内地域別の経済成長と輸送需要の推定——」北海道開発局（昭和43年）。
- 「室蘭市民所得の分析と評価」室蘭市企画部（昭和43年）。
- 「管理型リーダーシップと創造型リーダーシップ(I)~(III)」『商学討究』19巻2号、4号、20巻1号（昭和43~44年）。
- 「函館市都市診断——函館市の懊悩と発展への模索」『北海評論』（昭和44年）。
- 「北海道産業構造の分析(1)~(12)」『どうしん』北海道新聞広告局（昭和44年）。
- 「小樽市都市診断——小樽市の老化現象と挽回策」『北海評論』（昭和44年）。
- 「開発途上国における工業化と経営意識」『A・P・O』（昭和44年）。

- 「ベトナム訪問雑記——平和と経済は両立するか」『北海道新聞』（昭和44年）。
- 「北海道開発と人口構造——産業構造と年齢および性別構成——」伊藤俊夫教授還暦記念事業会編『金融と経済の諸問題（伊藤俊夫教授還暦記念論文集）』中央公論事業出版（昭和44年）。
- 「地域開発診断——小樽市」『北海評論』陽春特大号（昭和44年）。
- 「地域における長期計画策定への提言」『工業立地』8巻7号 日本工業立地センター（昭和44年）。
- 「内外緑地の経営戦略」『北海評論』（昭和44年）。
- 「小樽市を考える」『北海道新聞』（昭和44年）。
- 「意思決定とリーダーシップ再論」『商学討究』20巻3号（昭和44年）。
- 「苫小版・鹿島工業基地の経営立地論的比較」『北海評論』春季号（昭和45年）。
- 「青函トンネルは北海道をこう変える」『マーケティングと広告——70年代の広告展望』電通（昭和45年）。
- 「経営診断の方法的態度」『経営診断協会報』Mar. 31 経営診断協会（昭和45年）。
- “Contribution to Economic Growth in Japan”, Vanderbilt Univ. Oct. 8（昭和45年）。
- “Similarities and Differences of Management between Britains and Japan — A Diagnostic Analysis of Management”, Technology and Development Institute, East-West Center, Hawaii Univ.（昭和45年）。
- 「地域開発と企業成長の類型」『経済論集』（北海学園大学）17巻3号（昭和46年）。
- 「国際経営比較の方法論——国際経営比較論序説——」『商学討究』22巻2号, 3号（昭和46年）。
- “Socio-cultural Factors in Productivity Dynamics”, Technology and Development Institute, East-West Center, Honolulu. 1961.（昭和46年）。
- “The Role of Entrepreneurship in Economic Development”, Technology and Development Institute, East-West Center, Honolulu. 1961.（昭和46年）。
- 「マネジメント・ビヘビアの国際比較——これからの経営戦略の方向と課題」『経済の動き』北海道銀行（昭和46年）。
- 「地域開発と企業成長の類型」『経済論集』（北海学園大学）17巻3号（昭和46年）。
- 「日本的経営モデルと国際比較——George W. Englandの調査モデルを中心に」

- 『企業会計』24巻1号 (昭和47年)。
- 「労務診断の範囲と体系」『マネジメント・ブリテン』経営診断協会 (昭和47年)。
- 「ハワイの経済と社会」(小樽商科大学経済研究所研究部レポート) (昭和47年)。
- 「トップ・マネジメント・リーダーシップ再論」『商学討究』23巻3号 (昭和47年)。
- 「創業者型リーダーシップの『資性論』と経営行動」『商学討究』23巻4号 (昭和48年)。
- 「ヨーロッパの港湾事情」北海道交通研究会 (昭和48年)。
- 「ヨーロッパ物流調査団報告書」北海道物流調査団 (昭和48年)。
- 「異質化社会の経営(書評)」『マネジメントガイド』 (昭和48年)。
- 「経営行動の国際比較のモデルとその吟味」『商学討究』24巻3号 (昭和48年)。
- 「リーダーシップ論研究の集大成と分類基準」『商学討究』25巻1・2合併号 (昭和49年)。
- 「北海道開発の目標と課題」『北東開発公庫月報』北東開発公庫調査部 (昭和49年)。
- 「北海道物流合理化の方向と課題」『PDM』日本物流管理協議会 (昭和49年)。
- 「北海道経済の将来と開発」『北海道自治』北海道自治研修所 (昭和49年)。
- 「北海道の石炭産業の“見通し”とその問題点」『公益事業時報』 (昭和49年)。
- 「北海道観光政策の長期ビジョン」開発調整部企画調整係 (昭和49年)。
- 「ビジネス・リーダーシップと社会的責任」『商工につぼん』日本商工振興会 (昭和49年)。
- 「広域国行政の目標と戦略的展開」『北海道自治』 (昭和49年)。
- 「第6回欧州物流調査団報告」北海道物流調査団 (昭和50年)。
- 「労務管理概論」北海道経営研究会 (昭和50年)。
- 「北海道における物流の現状と将来計画」『物流』9・10月号 日本物流管理協議会 (昭和50年)。
- 「減速成長下の北海道経済」『北方ジャーナル』 (昭和50年)。
- 「権限委譲とリーダーシップ」『たくぎん経営がいで』121号 (昭和51年)。
- 「管理組織とリーダーシップ」『たくぎん経営がいで』122号 (昭和51年)。
- 「意思決定とリーダーシップ」『たくぎん経営がいで』123号 (昭和51年)。
- 「北海道総合開発の新計画に望むもの」『かいはず』No.1 北海道開発問題調査会 (昭和51年)。

- 「地域開発効果のマクロとミクロ——北海道総合開発の回顧と展望——課題は何か？
その開発戦略」『かいほつ』No. 4 (昭和51年)。
- 「『官僚化』傾向とリーダーシップ」『たくぎん経営がいで』124号 (昭和52年)。
- 「人間関係とリーダーシップ」『たくぎん経営がいで』125号 (昭和52年)。
- 「非動機づけ状況とリーダーシップ」『たくぎん経営がいで』126号 (昭和52年)。
- 「苫東開発の『経済効果』への3つのアプローチ」『かいほつ』No. 7 (昭和52年)。
- 「21世紀に向けての北海道開発」『かいほつ』No. 8 (昭和52年)。
- 「北海道における人口動態と産業構造」
『伊藤俊夫教授古稀記念論文集』 (昭和52年)。
- 「自国本位の防衛論」『北海道新聞』 (昭和53年)。
- 「八〇年代に向けての企業経営」 (昭和53年)。
- 「北海道と米中ソ関係」『北海タイムス』 (昭和53年)。
- 「北海道における物流合理化」『北海道物流』北海道物流合理化協議会 (昭和53年)。
- 「21世紀北海道展望と市町村」『21世紀の街づくり』No. 3 北海道開発問題研究調査会
(昭和54年)。
- 「北海道経済の優位と劣位」『北方ジャーナル』 (昭和54年)。
- 「北海道総合開発の経済効果」『北海道広報』 (昭和54年)。
- 「20年の歩みをふりかえって——最低賃金法施行20周年記念労働大臣表彰を受けるに
あたって一言」『労働時報』11月号 労働法令協会 (昭和54年)。
- 「八〇年代道開発に直言する」『北海ポスト』11月25日号 (昭和54年)。
- 「北海道における今後の雇用開発」『かいほつ』No. 19 (昭和55年)。
- 「これからの道内高等教育機関の整備・充実の基本方向」『かいほつ』No. 20
(昭和55年)。
- 「北海道開発のワキ役は誰か」『北海ポスト』 (昭和55年)。
- 「『地方の時代』と都市の役割 全国都市問題会議編『『地方の時代』と都市の役割』
全国市長会 (昭和55年)。
- 「80年代道開発の主役は誰か」『北海ポスト』 (昭和55年)。
- 「80年代北海道開発の課題」『北海評論』 (昭和55年)。
- 「80年代北海道経済と其の対応」『北海評論』 (昭和55年)。
- 「北海道開発の主要なワキ役」『北海ポスト』 (昭和55年)。

Ⅳ 調査報告

- 「北海道有林野事業経営実態調査報告書」北海道科学技術聯盟（昭和28年）。
- 「道民個人支出推計結果」『北海道統計』（昭和28・29年）。
- 「本道製機工場における挽割作業能率測定の試行調査」『研究資料』15号 北海道立労働科学研究所（昭和29年）。
- 「昭和27年度道民個人支出推計結果報告」（昭和29年）。
- 「天北五山経営実態調査報告」日本炭鉱労働組合北海道地方本部（昭和31年）。
- 「貧乏線の測定」『北海道労働研究』8巻3号（昭和32年）。
- 「江別市 産業振興調査報告書」江別市産業調査室（昭和23年）。
- 「昭和30年度道民所得調査結果概要」北海道統計課（昭和32年）。
- 「北海道における資本形成に関する調査」北海道開発局開発計画課（昭和34年）。
- 「北海道総合開発第一次五ヶ年計画事業の経済効果に関する調査」北海道総合開発企画本部（昭和34年）。
- 「江別市 産業振興調査」江別市産業調査室（昭和34年）。
- 「消費者物価指数作成上の問題」北海道企画部統計課（昭和38年）。
- 「北海道開発と農工連繫の問題」高瀬荘太郎編『北海道開発に関する経営学的研究』日本学術振興会第108委員会（昭和38年）。
- 「石狩町 産業振興の基本構想（報告書）」石狩町（昭和38年）。
- 「石狩町 町づくり基本調査」石狩町（昭和38年）。
- 「経営戦略と農業経営」『農業北海道』7月号 北海道農業会議（昭和39年）。
- 「網走市 地域商圏流動調査報告書」網走市企画室（昭和40年）。
- 「余市町 開発診断結果報告書」余市町（昭和40年）。
- 「伊達町 開発振興の基本構想」伊達町（昭和40年）。
- 「虻田町 町づくり基本調査」虻田町（昭和40年）。
- 「首都圏性格をもつ札幌市民所得の構造」『マーケット北海道』26号（昭和40年）。
- 「余市町 開発診断報告書」余市町（昭和41年）。
- 「昭和39年小樽市民所得調査報告書」小樽市（昭和42年）。
- 「虻田町 町づくり基本調査」虻田町町づくり審議会（昭和42年）。
- 「虻田町 町づくりの基本構想」虻田町町づくり審議会（昭和42年）。
- 「登別町 町づくり基本調査」登別町（昭和43年）。

- 「登別町 総合計画報告書」登別町 (昭和44年)。
- 「室蘭市 総合計画基本調査」室蘭市 (昭和44年)。
- 「厚田村 開発診断結果報告書」厚田村 (昭和45年)。
- 「札幌市観光開発基本構想報告書」札幌市 (昭和48年)。
- 「札幌市商業近代化調査報告書」札幌市商工会議所 (昭和48年)。
- 「道・観光客入り込み数と消費額調査」北海道商工観光部 (昭和48年)。
- 「苫小牧市商業近代化調査報告書」苫小牧市商工会議所 (昭和49年)。
- 「釧路市商業近代化調査報告書」釧路市商工会議所 (昭和50年)。
- 「壮瞥町観光開発基本構想報告書」日本観光学会北海道支部 (昭和50年)
- 「小樽市 総合計画審議会報告」小樽市 (昭和51年)。
- 「南幌町総合開発の基本構想」(共同研究)北海道開発問題研究調査会 (昭和52年)。
- 「余市町観光開発基本構想報告書」日本観光学会北海道支部 (昭和53年)。
- 「檜山地域観光開発基本構想」日本観光学会北海道支部 (昭和53年)。
- 「広島町南里地区開発の基本方向」(共同研究)北海道開発問題研究調査会
(昭和53年)。
- 「二十一世紀北海道展望報告書」北海道 (昭和53年)。

(昭和55年11月30日現在)